

会議録

1 附属機関の名称

犬山市公民館運営審議会

2 開催日時

令和8年2月19日（木） 午後2時30分から午後3時30分

3 開催場所

南部公民館 会議室2

4 出席した者の氏名

- (1) 委員 鶴野隆浩、佐曾利吏佐、伊藤恵以知、奥田しげみ、酒井俊輔
- (2) 執行機関 大黒文化推進課長、中島文化推進課課長補佐、柴田文化推進課主査補

5 議題

- (1) 令和7年度公民館事業の実績報告について
- (2) 令和8年度公民館事業の計画について
- (3) 大規模改修工事について

6 傍聴人の数

0人

7 内容

- (1) 令和7年度公民館事業の実績報告について
(事務局から内容について資料で説明)

委員：南部公民館での開催が中心になっているが、塔野地公民館や善師野公民館で実施しているものはあるか。また、少しでも家に近い所で開催して欲しいという声はあるか。開催した講座の中で、家庭教育に該当する講座はあるか。

事務局：塔野地や善師野公民館で開催して欲しいという声はあまり聞かない。塔野地公民館で開催しているヨガは同じ方が継続して参加しており、低調になりつつある。また、講師より来年度は辞退したいとの連絡があった。

資料には記載がないが、塔野地公民館ではデジタル講座としてインスタ講座を開催するなど、地域バランスを図りながら、南部公民館にはない講座を開催している。

善師野公民館は、西側に防災広場の整備を進めている。また、塔野地公民館についても利用していない黒板を取り外し、鏡貼りにする工事を実施している。塔野地と善師野公民館については、利用率が低いので、まずは利用しやすい施設にす

ることで利用率を上げていきたい。

家庭教育については、以前ご紹介頂いた講師とは費用面、日程面があわず実施ができなかった。まずは 1DAY 講座の中で開催できないかを検討していきたい。

委員：親子で食育など、親子で参加できることや、参加対象の年齢が明記されているといいかと思う。また、休日や夕方に開催される講座があると若い人が参加できる。

委員：幅広い講座があり、たくさんの方が参加している。ただ、講座の内容が学校の科目だと体育、音楽、家庭科、美術が多い。芸術や体を動かすものが多いので、短歌や俳句など国語的な要素があり、座って落ち着いて参加できるものがあると、芸術や体を動かすことが苦手な人も参加しやすいと思う。

事務局：短歌を楽しもうについては、後期講座の募集はしたが参加者が半数に満たなかったことと、講師の体調不良があり、後期講座は開催を見送った。文芸部門は参加者が固定化しているため、切り口を変える必要があると思っている。

(2) 令和 8 年度公民館事業の計画について
(事務局から内容について資料で説明)

委員：うたごえ教室は成果発表の場はあるか。

事務局：講座として発表の場はない。講座からサークル活動に移行しての発表はある。講座では一つの作品を作り上げるより、声を出すことが目的になっている。

委員：音楽祭にグループで出演するのはどうかと思う。

事務局：一人で歌うのは恥ずかしいので、みんなで歌いたいという声が多い。グループ発表であれば、音楽文化協会の活動を案内できるかと思う。

委員：参加者が減っていくのは、交通の問題がある。文芸はいろいろな方法で投句ができるが、講座は会場に来ないとできない。また、今後継続することを考えると高齢者だけでなく、若い人と高齢者の両方を考えながら開催するといい。講座を継続していると、介護や療養などで一度抜けた参加者が、また復帰しようという時が来るかも。

事務局：土日にコミュニティバスがないという声はよく聞く。バスだけでなく、タクシーの補助など市全体の交通行政の課題として受け止める。

公民館講座は、市民に新たな学びの機会を提供し、最終的には参加者がサークル活動に移行し、公民館を使い自主的に活動してもらうのが目標。サークル活動が増えることで、ここに来れば活動の場があるというようになるといい。

委員：ICT 講座については、生成 AI が発達し感想文を書かせたり、キャラクターや曲を作ったりできるようになった。生成 AI により、日常生活がどんどん便利になった一方で、学校現場でも学生に使い方を指導しないといけない。

ICT 講座で生成 AI を実施するのではあれば、使い方だけでなく、活かし方や注意の仕方は指導するとよいと思う。

事務局：ICT 講座については、文科省からの採択が決定した後に実施内容を検討していく。生成 AI 講座を実施する場合は、意見を参考に進めていく。

- (3) 大規模改修工事について
(事務局から内容について資料で説明)

質疑なし

令和8年4月3日

上記に相違ないことを確認する。

(署名)

(署名)
